

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 愛媛県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	今治病院	3
-	南宇和病院	4
-	新居浜病院	5
宇和島市	市立宇和島病院	6
宇和島市	宇和島市立吉田病院	7
宇和島市	宇和島市立津島病院	8
八幡浜市	市立八幡浜総合病院	9
西条市	西条市立周桑病院	10
大洲市	大洲病院	11
西予市	市立西予市民病院	12
西予市	市立野村病院	13
久万高原町	国保病院	14
鬼北町	北宇和病院	15
愛南町	愛南町国保一本松病院	16

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	75,928 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	33	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	824	72.3	73.0	74.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	3	5.4	-	-
計	827	72.1	72.8	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	10.9	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,385,262	
決算規模(千円)	623,659,855	
標準財政規模(千円)	349,948,129	
財政力指数	0.44285	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	149.0

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	31,162,026				
1 経常収益	31,162,026				
(1) 医業収益	27,908,448				
入院収益	18,604,507				
外来収益	7,967,657				
診療収入計	26,572,164				
その他医業収益	1,336,284				
(うち他会計負担金)	693,395				
(2) 医業外収益	3,253,578				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	1,502,566				
(うち長期前受金戻入)	1,462,917				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	30,740,575				
2 経常費用	30,740,575				
(1) 医業費用	29,078,215				
職員給与費	13,481,481	48.3	55.7	49.1	
材料費	8,721,995	31.3	24.7	29.1	
(うち薬品費)	4,396,665	15.8	13.3	16.1	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,325,330	15.5	11.0	12.7	
減価償却費	2,520,547	9.0	9.0	8.4	
経費	4,110,349	14.7	23.3	20.7	
(うち委託料)	2,851,382	10.2	11.5	11.6	
研究研修費	154,980				
資産減耗費	88,863				
(2) 医業外費用	1,662,360				
(うち支払利息)	385,227	1.4	1.4	1.2	
(3) 特別損失	-				
損益					
経常損益	421,451				
純損益	421,451				
累積欠損金	-				
経常収支比率	101.4		97.7	98.8	
医業収支比率	96.0		88.1	92.5	
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	9.0	
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		14.5	10.1	
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.4	8.9	
実質収益対経常費用比率	94.2		85.7	89.9	

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	50,320,735
1 固定資産	40,695,978
(1) 有形固定資産	38,583,467
(2) 無形固定資産	14,436
(3) 投資その他の資産	2,098,075
2 流動資産	9,624,757
(1) 現金及び預金	2,409,632
(2) 未収金及び未収収益	7,126,167
(3) 貸倒引当金( )	350,568
(4) 貯蔵品	438,525
3 繰延資産	-
負債合計	63,734,138
1 固定負債	47,419,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,601,497
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,827,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,812,811
(7) リース債務	2,406,238
2 流動負債	9,841,751
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,302,773
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,205,701
(6) リース債務	839,587
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,272,976
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,472,564
(1) 長期前受金	21,847,016
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,374,452
資本合計	-13,413,403
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-20,461,447
(1) 資本剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-20,781,094
負債・資本合計	50,320,735
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	13,413,403
資本不足額(繰延収益控除後)( )	6,940,839
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.6
修正医業収益(千円)	27,215,053

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,195,961	2,195,961
資本勘定繰入	998,801	1,020,695
計	3,194,762	3,216,656

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	
				病院名	今治病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,999 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ災輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	270	67.4	67.6	69.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	56.8	57.1	58.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	12.5	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,385,262	
決算規模(千円)	623,659,855	
標準財政規模(千円)	349,948,129	
財政力指数	0.44285	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	149.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,799,130			
1 経常収益	5,799,130			
(1) 医業収益	5,095,033			
入院収益	3,588,590			
外来収益	1,367,038			
診療収入計	4,955,628			
その他医業収益	139,405			
(うち他会計負担金)	1,329			
(2) 医業外収益	704,097			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	378,140			
(うち長期前受金戻入)	203,597			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,006,638			
2 経常費用	6,006,638			
(1) 医業費用	5,776,315			
職員給与費	3,422,925	67.2	55.7	57.0
材料費	1,051,423	20.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	396,966	7.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	653,691	12.8	11.0	11.3
減価償却費	389,262	7.6	9.0	9.3
経費	875,485	17.2	23.3	22.1
(うち委託料)	408,797	8.0	11.5	11.1
研究研修費	24,793			
資産減耗費	12,427			
(2) 医業外費用	230,323			
(うち支払利息)	14,190	0.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-207,508			
純損益	-207,508			
累積欠損金	8,568,727			
経常収支比率	96.5		97.7	96.4
医業収支比率	88.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	6.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	90.2		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	50,320,735
1 固定資産	40,695,978
(1) 有形固定資産	38,583,467
(2) 無形固定資産	14,436
(3) 投資その他の資産	2,098,075
2 流動資産	9,624,757
(1) 現金及び預金	2,409,632
(2) 未収金及び未収収益	7,126,167
(3) 貸倒引当金( )	350,568
(4) 貯蔵品	438,525
3 繰延資産	-
負債合計	63,734,138
1 固定負債	47,419,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,601,497
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,827,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,812,811
(7) リース債務	2,406,238
2 流動負債	9,841,751
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,302,773
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,205,701
(6) リース債務	839,587
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,272,976
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,472,564
(1) 長期前受金	21,847,016
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,374,452
資本合計	-13,413,403
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-20,461,447
(1) 資本金剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-20,781,094
負債・資本合計	50,320,735
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	13,413,403
資本不足額(繰延収益控除後)( )	6,940,839
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.2
修正医業収益(千円)	5,093,704

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	379,469	379,469
資本勘定繰入	95,327	993,023
計	474,796	1,372,492

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	
				病院名	南宇和病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,000 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	199	50.6	52.5	51.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	50.6	52.5	51.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	16.9	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,385,262	
決算規模(千円)	623,659,855	
標準財政規模(千円)	349,948,129	
財政力指数	0.44285	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	149.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.7
修正医業収益(千円)	2,170,462

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,509,772			
1 経常収益	2,509,772			
(1) 医業収益	2,170,462			
入院収益	1,259,493			
外来収益	854,433			
診療収入計	2,113,926			
その他医業収益	56,536			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	339,310			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	189,175			
(うち長期前受金戻入)	92,496			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,863,143			
2 経常費用	2,863,143			
(1) 医業費用	2,724,294			
職員給与費	1,694,571	78.1	55.7	61.3
材料費	331,615	15.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	136,242	6.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	194,930	9.0	11.0	8.2
減価償却費	159,336	7.3	9.0	10.2
経費	516,892	23.8	23.3	30.5
(うち委託料)	266,703	12.3	11.5	13.0
研究研修費	9,417			
資産減耗費	12,463			
(2) 医業外費用	138,849			
(うち支払利息)	47,378	2.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-353,371			
純損益	-353,371			
累積欠損金	13,975,120			
経常収支比率	87.7		97.7	96.5
医業収支比率	79.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	81.1		85.7	80.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	50,320,735
1 固定資産	40,695,978
(1) 有形固定資産	38,583,467
(2) 無形固定資産	14,436
(3) 投資その他の資産	2,098,075
2 流動資産	9,624,757
(1) 現金及び預金	2,409,632
(2) 未収金及び未収収益	7,126,167
(3) 貸倒引当金( )	350,568
(4) 貯蔵品	438,525
3 繰延資産	-
負債合計	63,734,138
1 固定負債	47,419,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,601,497
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,827,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,812,811
(7) リース債務	2,406,238
2 流動負債	9,841,751
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,302,773
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,205,701
(6) リース債務	839,587
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,272,976
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,472,564
(1) 長期前受金	21,847,016
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,374,452
資本合計	-13,413,403
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-20,461,447
(1) 資本剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-20,781,094
負債・資本合計	50,320,735
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	13,413,403
資本不足額(繰延収益控除後)( )	6,940,839

備考:  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	189,175	189,175
資本勘定繰入	226,003	1,688,178
計	415,178	1,877,353

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	
				病院名	新居浜病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,328 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	290	53.8	56.6	58.0
療養	-	-	-	-
結核	21	0.2	0.1	0.7
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	313	49.8	52.4	53.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.3	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,385,262	
決算規模(千円)	623,659,855	
標準財政規模(千円)	349,948,129	
財政力指数	0.44285	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	149.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.9
修正医業収益(千円)	4,628,884

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,160,923			
1 経常収益	6,146,403			
(1) 医業収益	5,400,742			
入院収益	3,192,309			
外来収益	1,317,839			
診療収入計	4,510,148			
その他医業収益	890,594			
(うち他会計負担金)	771,858			
(2) 医業外収益	745,661			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	453,443			
(うち長期前受金戻入)	167,971			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,520			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,265,707			
2 経常費用	6,265,707			
(1) 医業費用	6,017,959			
職員給与費	3,737,658	69.2	55.7	57.0
材料費	1,000,248	18.5	24.7	24.5
(うち薬品費)	401,314	7.4	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	597,452	11.1	11.0	11.3
減価償却費	351,576	6.5	9.0	9.3
経費	900,929	16.7	23.3	22.1
(うち委託料)	435,129	8.1	11.5	11.1
研究研修費	25,084			
資産減耗費	2,464			
(2) 医業外費用	247,748			
(うち支払利息)	15,381	0.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-119,304			
純損益	-104,784			
累積欠損金	6,070,080			
経常収支比率	98.1		97.7	96.4
医業収支比率	89.7		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	19.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	22.7		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	19.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	78.5		85.7	85.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	50,320,735
1 固定資産	40,695,978
(1) 有形固定資産	38,583,467
(2) 無形固定資産	14,436
(3) 投資その他の資産	2,098,075
2 流動資産	9,624,757
(1) 現金及び預金	2,409,632
(2) 未収金及び未収収益	7,126,167
(3) 貸倒引当金( )	350,568
(4) 貯蔵品	438,525
3 繰延資産	-
負債合計	63,734,138
1 固定負債	47,419,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,601,497
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	8,827,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,812,811
(7) リース債務	2,406,238
2 流動負債	9,841,751
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,302,773
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,205,701
(6) リース債務	839,587
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,272,976
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,472,564
(1) 長期前受金	21,847,016
(2) 長期前受金収益化累計額( )	15,374,452
資本合計	-13,413,403
1 資本金	7,048,044
2 剰余金	-20,461,447
(1) 資本剰余金	319,647
(2) 利益剰余金	-20,781,094
負債・資本合計	50,320,735
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	13,413,403
資本不足額(繰延収益控除後)( )	6,940,839

備考:  
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,225,301	1,225,301
資本勘定繰入	83,728	724,865
計	1,309,029	1,950,166

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	宇和島市
				病院名	市立宇和島病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,197 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
診療科数	35	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	426	93.3	96.0	94.8
療養	-	-	-	-
結核	5	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.1	-	-
計	435	91.4	94.0	92.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	13.4	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	77,465	
決算規模(千円)	46,114,637	
標準財政規模(千円)	25,142,920	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	84.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,384,985			
1 経常収益	13,357,680			
(1) 医業収益	12,508,277			
入院収益	8,029,708			
外来収益	3,834,749			
診療収入計	11,864,457			
その他医業収益	643,820			
(うち他会計負担金)	283,510			
(2) 医業外収益	849,403			
(うち国・都道府県補助金)	20,912			
(うち他会計補助・負担金)	371,544			
(うち長期前受金戻入)	288,698			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,305			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,266,878			
2 経常費用	13,180,972			
(1) 医業費用	12,446,029			
職員給与費	5,909,516	47.2	55.7	54.0
材料費	3,533,974	28.3	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,998,308	16.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,447,696	11.6	11.0	12.2
減価償却費	1,262,514	10.1	9.0	7.9
経費	1,655,346	13.2	23.3	19.2
(うち委託料)	835,929	6.7	11.5	9.3
研究研修費	75,805			
資産減耗費	8,874			
(2) 医業外費用	734,943			
(うち支払利息)	219,058	1.8	1.4	1.3
(3) 特別損失	85,906			
損益				
経常損益	176,708			
純損益	118,107			
累積欠損金	2,569,919			
経常収支比率	101.3		97.7	98.8
医業収支比率	100.5		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	5.2		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	96.4		85.7	89.1

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,165,586
1 固定資産	15,205,630
(1) 有形固定資産	14,330,787
(2) 無形固定資産	8,605
(3) 投資その他の資産	866,238
2 流動資産	10,959,956
(1) 現金及び預金	8,634,702
(2) 未収金及び未収収益	2,288,055
(3) 貸倒引当金( )	128,313
(4) 貯蔵品	163,139
3 繰延資産	-
負債合計	19,982,361
1 固定負債	15,506,394
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,991,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,994,354
(7) リース債務	520,305
2 流動負債	3,666,394
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	952,826
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	970,184
(6) リース債務	267,031
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,469,137
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	809,573
(1) 長期前受金	3,552,572
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,742,999
資本合計	6,183,225
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-6,425,379
(1) 資本金剰余金	45,307
(2) 利益剰余金	-6,470,686
負債・資本合計	26,165,586
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.2
修正医業収益(千円)	12,224,767

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	652,756	655,054
資本勘定繰入	233,052	233,052
計	885,808	888,106

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	宇和島市
				病院名	宇和島市立吉田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,866 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	12	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	52	37.0	34.9	40.6
療養	48	73.9	73.7	79.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	49.9	47.8	53.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	21.6	22.2

設立団体の状況		
人口(人)	77,465	
決算規模(千円)	46,114,637	
標準財政規模(千円)	25,142,920	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	84.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.8
修正医業収益(千円)	724,547

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	875,202			
1 経常収益	874,141			
(1) 医業収益	760,841			
入院収益	514,175			
外来収益	186,307			
診療収入計	700,482			
その他医業収益	60,359			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	113,300			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	75,544			
(うち長期前受金戻入)	31,626			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,061			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	849,865			
2 経常費用	847,407			
(1) 医業費用	816,129			
職員給与費	487,333	64.1	55.7	61.3
材料費	80,557	10.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	33,878	4.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,239	4.0	11.0	8.2
減価償却費	65,344	8.6	9.0	10.2
経費	180,069	23.7	23.3	30.5
(うち委託料)	63,216	8.3	11.5	13.0
研究研修費	905			
資産減耗費	1,921			
(2) 医業外費用	31,278			
(うち支払利息)	10,060	1.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,458			
損益				
経常損益	26,734			
純損益	25,337			
累積欠損金	2,545,629			
経常収支比率	103.2		97.7	96.5
医業収支比率	93.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	12.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	90.0		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,165,586
1 固定資産	15,205,630
(1) 有形固定資産	14,330,787
(2) 無形固定資産	8,605
(3) 投資その他の資産	866,238
2 流動資産	10,959,956
(1) 現金及び預金	8,634,702
(2) 未収金及び未収収益	2,288,055
(3) 貸倒引当金( )	128,313
(4) 貯蔵品	163,139
3 繰延資産	-
負債合計	19,982,361
1 固定負債	15,506,394
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,991,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,994,354
(7) リース債務	520,305
2 流動負債	3,666,394
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	952,826
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	970,184
(6) リース債務	267,031
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,469,137
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	809,573
(1) 長期前受金	3,552,572
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,742,999
資本合計	6,183,225
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-6,425,379
(1) 資本剰余金	45,307
(2) 利益剰余金	-6,470,686
負債・資本合計	26,165,586
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	73,642	111,838
資本勘定繰入	36,111	36,111
計	109,753	147,949

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	愛媛県
	市町村・組合名	宇和島市
	病院名	宇和島市立津島病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,395 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	79.0	56.5	58.1
療養	40	87.9	85.6	83.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	82.6	66.0	66.6
平均在院日数(一般病床のみ)		27.0	22.7	22.5

設立団体の状況		
人口(人)	77,465	
決算規模(千円)	46,114,637	
標準財政規模(千円)	25,142,920	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	84.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.2
修正医業収益(千円)	1,129,529

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,313,851			
1 経常収益	1,309,494			
(1) 医業収益	1,165,823			
入院収益	761,416			
外来収益	338,984			
診療収入計	1,100,400			
その他医業収益	65,423			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	143,671			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	100,029			
(うち長期前受金戻入)	29,120			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,357			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,228,075			
2 経常費用	1,212,497			
(1) 医業費用	1,174,079			
職員給与費	664,960	57.0	55.7	61.3
材料費	139,598	12.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	87,298	7.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	49,528	4.2	11.0	8.2
減価償却費	77,263	6.6	9.0	10.2
経費	290,216	24.9	23.3	30.5
(うち委託料)	143,750	12.3	11.5	13.0
研究研修費	1,734			
資産減耗費	308			
(2) 医業外費用	38,418			
(うち支払利息)	2,115	0.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	15,578			
損益				
経常損益	96,997			
純損益	85,776			
累積欠損金	1,355,138			
経常収支比率	108.0		97.7	96.5
医業収支比率	99.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	96.8		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	26,165,586
1 固定資産	15,205,630
(1) 有形固定資産	14,330,787
(2) 無形固定資産	8,605
(3) 投資その他の資産	866,238
2 流動資産	10,959,956
(1) 現金及び預金	8,634,702
(2) 未収金及び未収収益	2,288,055
(3) 貸倒引当金( )	128,313
(4) 貯蔵品	163,139
3 繰延資産	-
負債合計	19,982,361
1 固定負債	15,506,394
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,991,735
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,994,354
(7) リース債務	520,305
2 流動負債	3,666,394
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	952,826
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	970,184
(6) リース債務	267,031
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,469,137
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	809,573
(1) 長期前受金	3,552,572
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,742,999
資本合計	6,183,225
1 資本金	12,608,604
2 剰余金	-6,425,379
(1) 資本剰余金	45,307
(2) 利益剰余金	-6,470,686
負債・資本合計	26,165,586
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	116,797	136,323
資本勘定繰入	28,793	28,793
計	145,590	165,116

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	八幡浜市
				病院名	市立八幡浜総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,199 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	254	58.9	62.5	63.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	256	58.4	62.0	63.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	16.8	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	34,951	
決算規模(千円)	22,891,801	
標準財政規模(千円)	11,044,005	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	77.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.5
修正医業収益(千円)	3,742,311

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,732,707			
1 経常収益	4,732,707			
(1) 医業収益	3,888,656			
入院収益	2,410,566			
外来収益	1,175,951			
診療収入計	3,586,517			
その他医業収益	302,139			
(うち他会計負担金)	146,345			
(2) 医業外収益	844,051			
(うち国・都道府県補助金)	231			
(うち他会計補助・負担金)	388,115			
(うち長期前受金戻入)	355,830			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,704,231			
2 経常費用	4,704,231			
(1) 医業費用	4,482,857			
職員給与費	2,464,336	63.4	55.7	59.8
材料費	718,306	18.5	24.7	19.0
(うち薬品費)	348,287	9.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	370,019	9.5	11.0	9.2
減価償却費	507,229	13.0	9.0	9.9
経費	769,000	19.8	23.3	27.7
(うち委託料)	517,227	13.3	11.5	12.4
研究研修費	11,652			
資産減耗費	12,334			
(2) 医業外費用	221,374			
(うち支払利息)	31,099	0.8	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	28,476			
純損益	28,476			
累積欠損金	1,021,587			
経常収支比率	100.6		97.7	96.3
医業収支比率	86.7		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.7		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	89.2		85.7	83.5

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,502,690
1 固定資産	7,355,524
(1) 有形固定資産	6,944,653
(2) 無形固定資産	4,585
(3) 投資その他の資産	406,286
2 流動資産	3,147,166
(1) 現金及び預金	2,435,536
(2) 未収金及び未収収益	664,297
(3) 貸倒引当金( )	2,122
(4) 貯蔵品	48,521
3 繰延資産	-
負債合計	8,853,143
1 固定負債	6,098,473
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,955,114
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,143,359
(7) リース債務	-
2 流動負債	666,185
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	213,982
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	136,240
(6) リース債務	100
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	292,155
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,088,485
(1) 長期前受金	3,652,794
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,564,309
資本合計	1,649,547
1 資本金	2,362,732
2 剰余金	-713,185
(1) 資本金剰余金	308,402
(2) 利益剰余金	-1,021,587
負債・資本合計	10,502,690
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	384,608	534,460
資本勘定繰入	72,148	106,344
計	456,756	640,804

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	愛媛県
	市町村・組合名	西条市
	病院名	西条市立周桑病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,355 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	185	43.9	48.4	49.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	43.9	25.6	25.9
平均在院日数(一般病床のみ)		24.7	12.8	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	108,174	
決算規模(千円)	53,936,284	
標準財政規模(千円)	27,111,758	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	82.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	177,032			
1 経常収益	177,032			
(1) 医業収益	46,926			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	46,926			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	130,106			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	120,750			
(うち長期前受金戻入)	9,330			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	208,970			
2 経常費用	208,970			
(1) 医業費用	172,154			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	86,833	185.0	9.0	10.2
経費	81,819	174.4	23.3	30.5
(うち委託料)	5,910	12.6	11.5	13.0
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	3,502	-	-	-
(2) 医業外費用	36,816	-	-	-
(うち支払利息)	34,690	73.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-31,938			
純損益	-31,938			
累積欠損金	4,497,148			
経常収支比率	84.7		97.7	96.5
医業収支比率	27.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	91.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	345.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	91.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	7.1		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,681,316
1 固定資産	1,639,517
(1) 有形固定資産	1,633,125
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	6,392
2 流動資産	41,799
(1) 現金及び預金	37,629
(2) 未収金及び未収収益	4,170
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,035,563
1 固定負債	815,739
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	815,739
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	195,057
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,733
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,269
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	24,767
(1) 長期前受金	70,102
(2) 長期前受金収益化累計額( )	45,335
資本合計	645,753
1 資本金	2,714,973
2 剰余金	-2,069,220
(1) 資本剰余金	2,427,928
(2) 利益剰余金	-4,497,148
負債・資本合計	1,681,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	3.2
修正医業収益(千円)	5,541

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	64,510	162,135
資本勘定繰入	105,442	105,516
計	169,952	267,651

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9583.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	大洲市
				病院名	大洲病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,813 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 感 へ 輪		
診療科数	11	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	142	56.4	58.4	60.3
療養	-	-	-	-
結核	8	0.4	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	53.4	55.2	57.1
平均在院日数（一般病床のみ）		11.5	12.8	13.7

設立団体の状況		
人口（人）	44,086	
決算規模（千円）	28,313,757	
標準財政規模（千円）	14,332,353	
財政力指数	0.36	
経常収支比率（%）	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.4
	将来負担比率（%）	42.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.8
修正医業収益（千円）	2,800,198

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,362,669			
1 経常収益	3,358,871			
(1) 医業収益	2,849,281			
入院収益	1,514,432			
外来収益	1,223,131			
診療収入計	2,737,563			
その他医業収益	111,718			
(うち他会計負担金)	49,083			
(2) 医業外収益	509,590			
(うち国・都道府県補助金)	315			
(うち他会計補助・負担金)	245,842			
(うち長期前受金戻入)	237,776			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,798			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,253,112			
2 経常費用	3,245,619			
(1) 医業費用	3,051,400			
職員給与費	1,560,970	54.8	55.7	61.3
材料費	693,749	24.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	269,972	9.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	400,769	14.1	11.0	8.2
減価償却費	205,601	7.2	9.0	10.2
経費	495,825	17.4	23.3	30.5
(うち委託料)	252,381	8.9	11.5	13.0
研究研修費	8,130			
資産減耗費	87,125			
(2) 医業外費用	194,219			
(うち支払利息)	57,415	2.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	7,493			
損益				
経常損益	113,252			
純損益	109,557			
累積欠損金	261,423			
経常収支比率	103.5		97.7	96.5
医業収支比率	93.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	94.4		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	5,944,647
1 固定資産	4,332,014
(1) 有形固定資産	4,330,664
(2) 無形固定資産	1,350
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,612,633
(1) 現金及び預金	810,419
(2) 未収金及び未収収益	753,347
(3) 貸倒引当金（ ）	7,369
(4) 貯蔵品	54,226
3 繰延資産	-
負債合計	4,328,340
1 固定負債	2,662,063
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,654,103
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,007,960
(7) リース債務	-
2 流動負債	942,367
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	395,331
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,575
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	450,589
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	723,910
(1) 長期前受金	2,923,993
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,200,083
資本合計	1,616,307
1 資本金	1,274,267
2 剰余金	342,040
(1) 資本剰余金	603,463
(2) 利益剰余金	-261,423
負債・資本合計	5,944,647
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	275,867	294,925
資本勘定繰入	223,192	304,105
計	499,059	599,030

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	9.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	西予市
				病院名	市立西予市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,772 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救感へ輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	102	71.6	74.8	79.2
療養	50	52.6	50.4	58.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	154	64.5	65.9	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	16.9	17.1

設立団体の状況		
人口(人)	38,919	
決算規模(千円)	31,709,449	
標準財政規模(千円)	15,153,395	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	72.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,302,969			
1 経常収益	2,296,834			
(1) 医業収益	1,914,010			
入院収益	1,215,822			
外来収益	591,517			
診療収入計	1,807,339			
その他医業収益	106,671			
(うち他会計負担金)	38,568			
(2) 医業外収益	382,824			
(うち国・都道府県補助金)	156			
(うち他会計補助・負担金)	175,218			
(うち長期前受金戻入)	150,425			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,135			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,477,482			
2 経常費用	2,475,084			
(1) 医業費用	2,314,368			
職員給与費	1,176,919	61.5	55.7	61.3
材料費	350,080	18.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	159,033	8.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	161,968	8.5	11.0	8.2
減価償却費	352,807	18.4	9.0	10.2
経費	427,785	22.4	23.3	30.5
(うち委託料)	152,646	8.0	11.5	13.0
研究研修費	5,028			
資産減耗費	1,749			
(2) 医業外費用	160,716			
(うち支払利息)	38,988	2.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,398			
損益				
経常損益	-178,250			
純損益	-174,513			
累積欠損金	1,055,467			
経常収支比率	92.8		97.7	96.5
医業収支比率	82.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	84.2		85.7	80.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,715,282
1 固定資産	6,550,149
(1) 有形固定資産	6,288,666
(2) 無形固定資産	9,555
(3) 投資その他の資産	251,928
2 流動資産	2,165,133
(1) 現金及び預金	1,527,005
(2) 未収金及び未収収益	631,168
(3) 貸倒引当金( )	14,282
(4) 貯蔵品	20,527
3 繰延資産	-
負債合計	5,975,776
1 固定負債	4,791,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,749,641
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	42,173
(7) リース債務	-
2 流動負債	595,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	328,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	131,035
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	134,312
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	588,476
(1) 長期前受金	1,979,555
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,391,079
資本合計	2,739,506
1 資本金	2,626,478
2 剰余金	113,028
(1) 資本剰余金	477,207
(2) 利益剰余金	-364,179
負債・資本合計	8,715,282
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.0
修正医業収益(千円)	1,875,442

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,391	213,786
資本勘定繰入	97,607	100,407
計	299,998	314,193

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	西予市
				病院名	市立野村病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,782 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救	へ	輪
診療科数	9	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	88	79.9	84.5	72.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	79.9	84.5	72.2
平均在院日数（一般病床のみ）		17.1	17.8	18.2

設立団体の状況		
人口（人）	38,919	
決算規模（千円）	31,709,449	
標準財政規模（千円）	15,153,395	
財政力指数	0.25	
経常収支比率（%）	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.7
	将来負担比率（%）	72.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	81.1
修正医業収益（千円）	1,302,547

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,678,414			
1 経常収益	1,668,776			
(1) 医業収益	1,339,853			
入院収益	849,836			
外来収益	416,748			
診療収入計	1,266,584			
その他医業収益	73,269			
(うち他会計負担金)	37,306			
(2) 医業外収益	328,923			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	269,801			
(うち長期前受金戻入)	31,950			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,638			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,680,293			
2 経常費用	1,668,865			
(1) 医業費用	1,605,290			
職員給与費	872,853	65.1	55.7	72.6
材料費	229,587	17.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	134,766	10.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	74,312	5.5	11.0	5.6
減価償却費	183,603	13.7	9.0	11.1
経費	314,903	23.5	23.3	31.9
(うち委託料)	61,679	4.6	11.5	13.0
研究研修費	3,636			
資産減耗費	708			
(2) 医業外費用	63,575			
(うち支払利息)	17,509	1.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	11,428			
損益				
経常損益	-89			
純損益	-1,879			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	83.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	18.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	22.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	81.6		85.7	74.2

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	8,715,282
1 固定資産	6,550,149
(1) 有形固定資産	6,288,666
(2) 無形固定資産	9,555
(3) 投資その他の資産	251,928
2 流動資産	2,165,133
(1) 現金及び預金	1,527,005
(2) 未収金及び未収収益	631,168
(3) 貸倒引当金（ ）	14,282
(4) 貯蔵品	20,527
3 繰延資産	-
負債合計	5,975,776
1 固定負債	4,791,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,749,641
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	42,173
(7) リース債務	-
2 流動負債	595,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	328,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	131,035
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	134,312
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	588,476
(1) 長期前受金	1,979,555
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,391,079
資本合計	2,739,506
1 資本金	2,626,478
2 剰余金	113,028
(1) 資本金剰余金	477,207
(2) 利益剰余金	-364,179
負債・資本合計	8,715,282
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	303,026	307,107
資本勘定繰入	79,019	79,019
計	382,045	386,126

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	14.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	久万高原町
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,667 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	47	83.8	76.1	83.2
療養	30	90.8	83.4	86.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	77	86.5	79.0	84.7
平均在院日数（一般病床のみ）		20.0	20.8	20.5

設立団体の状況		
人口（人）	8,447	
決算規模（千円）	9,421,889	
標準財政規模（千円）	5,546,725	
財政力指数	0.18	
経常収支比率（%）	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.8
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	79.8
修正医業収益（千円）	730,478

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	948,608			
1 経常収益	948,608			
(1) 医業収益	770,166			
入院収益	541,332			
外来収益	162,317			
診療収入計	703,649			
その他医業収益	66,517			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	178,442			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	118,851			
(うち長期前受金戻入)	38,203			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	944,501			
2 経常費用	944,501			
(1) 医業費用	915,381			
職員給与費	593,632	77.1	55.7	72.6
材料費	72,085	9.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	33,851	4.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,622	3.2	11.0	5.6
減価償却費	53,765	7.0	9.0	11.1
経費	190,324	24.7	23.3	31.9
(うち委託料)	74,537	9.7	11.5	13.0
研究研修費	967			
資産減耗費	4,608			
(2) 医業外費用	29,120			
(うち支払利息)	795	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	4,107			
純損益	4,107			
累積欠損金	99,013			
経常収支比率	100.4		97.7	97.4
医業収支比率	84.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	16.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	83.6		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,357,842
1 固定資産	668,129
(1) 有形固定資産	667,655
(2) 無形固定資産	474
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	689,713
(1) 現金及び預金	548,026
(2) 未収金及び未収収益	133,973
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	7,714
3 繰延資産	-
負債合計	411,649
1 固定負債	266,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	155,260
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	110,930
(7) リース債務	-
2 流動負債	95,238
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,380
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,676
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,689
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	50,221
(1) 長期前受金	213,662
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	163,441
資本合計	946,193
1 資本金	1,016,156
2 剰余金	-69,963
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-69,963
負債・資本合計	1,357,842
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,539	158,539
資本勘定繰入	18,961	18,961
計	177,500	177,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	12.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	愛媛県
		市町村・組合名	鬼北町
		病院名	北宇和病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,963 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	へ
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	55.6	52.0	54.0
療養	45	38.9	51.3	57.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	48.1	51.7	55.7
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	20.8	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	10,705	
決算規模(千円)	7,718,818	
標準財政規模(千円)	4,451,669	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.8
修正医業収益(千円)	645,009

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	935,616			
1 経常収益	935,233			
(1) 医業収益	645,009			
入院収益	387,653			
外来収益	234,601			
診療収入計	622,254			
その他医業収益	22,755			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	290,224			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	202,724			
(うち長期前受金戻入)	84,494			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	383			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	944,953			
2 経常費用	941,319			
(1) 医業費用	937,693			
職員給与費	91,132	14.1	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	90,879	14.1	9.0	10.2
経費	755,674	117.2	23.3	30.5
(うち委託料)	746,354	115.7	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	8			
(2) 医業外費用	3,626			
(うち支払利息)	1,355	0.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	3,634			
損益				
経常損益	-6,086			
純損益	-9,337			
累積欠損金	376,371			
経常収支比率	99.4		97.7	96.5
医業収支比率	68.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	31.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.8		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,536,992
1 固定資産	1,425,200
(1) 有形固定資産	1,424,738
(2) 無形固定資産	462
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	111,792
(1) 現金及び預金	11,796
(2) 未収金及び未収収益	100,437
(3) 貸倒引当金( )	441
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,124,014
1 固定負債	106,399
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	106,399
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	36,504
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,256
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,180
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,068
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	981,111
(1) 長期前受金	2,272,426
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,291,315
資本合計	412,978
1 資本金	-
2 剰余金	412,978
(1) 資本剰余金	789,349
(2) 利益剰余金	-376,371
負債・資本合計	1,536,992
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	195,703	202,724
資本勘定繰入	4,325	4,325
計	200,028	207,049

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛媛県
				市町村・組合名	愛南町
				病院名	愛南町国保一本松病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,752 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	3	看護配置	20:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	60	83.5	82.8	86.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	83.5	82.8	86.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	21,902	
決算規模(千円)	14,254,045	
標準財政規模(千円)	9,265,242	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.8
修正医業収益(千円)	403,213

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	665,001			
1 経常収益	664,869			
(1) 医業収益	404,217			
入院収益	275,201			
外来収益	112,581			
診療収入計	387,782			
その他医業収益	16,435			
(うち他会計負担金)	1,004			
(2) 医業外収益	260,652			
(うち国・都道府県補助金)	4,049			
(うち他会計補助・負担金)	232,519			
(うち長期前受金戻入)	7,820			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	132			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	659,610			
2 経常費用	658,962			
(1) 医業費用	631,677			
職員給与費	411,536	101.8	55.7	72.6
材料費	61,345	15.2	24.7	15.8
(うち薬品費)	34,450	8.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,578	4.1	11.0	5.6
減価償却費	40,468	10.0	9.0	11.1
経費	115,612	28.6	23.3	31.9
(うち委託料)	46,273	11.4	11.5	13.0
研究研修費	1,019			
資産減耗費	1,697			
(2) 医業外費用	27,285			
(うち支払利息)	127	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	648			
損益				
経常損益	5,907			
純損益	5,391			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		97.7	97.4
医業収支比率	64.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	35.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	57.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	35.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	65.5		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	913,966
1 固定資産	642,852
(1) 有形固定資産	637,253
(2) 無形固定資産	5,599
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	271,114
(1) 現金及び預金	157,954
(2) 未収金及び未収収益	109,388
(3) 貸倒引当金( )	442
(4) 貯蔵品	4,214
3 繰延資産	-
負債合計	237,764
1 固定負債	48,712
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	48,712
2 流動負債	66,798
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,096
(6) リース債務	14,708
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	122,254
(1) 長期前受金	342,936
(2) 長期前受金収益化累計額( )	220,682
資本合計	676,202
1 資本金	627,288
2 剰余金	48,914
(1) 資本金剰余金	12,363
(2) 利益剰余金	36,551
負債・資本合計	913,966
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	228,131	233,523
資本勘定繰入	33,223	7,752
計	261,354	241,275

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。